

平成 20 年度第 3 回被服学教育 F D / I T 活用研究委員会議事概要

- I. 日 時： 平成 20 年 10 月 28 日（火）午後 5 時から 7 時
- II. 場 所： 私立大学情報教育協会事務局会議室
- III. 出席者： 高部委員長、鈴木委員、水谷委員、角田委員、田中委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 議事概要

1. 検討事項

被服学教育における学士力について

前回の委員会で作成した委員会案と後に付記した説明文対して、被服学教員から寄せられた意見を踏まえて学士力案と説明文の整理を行い、以下の案を決定した。

被服学教育における学士力（案）

1. 被服の歴史・文化や役割を理解し、表現する能力を身につけている。
(被服の歴史や文化、被服の社会的、保健衛生的役割を理解し、被服の着用や服飾造形などによるイメージや感性の表現ができる能力)
 2. 人体と被服構造・構成の関係を理解し、表現できる。
(着衣基体を理解・把握し、被服構造・構成力を身に付け、被服素材の選択や被服パターン設計に活用できる能力)
 3. 被服材料の特性を理解し、企画設計、着用評価、維持管理ができる。
(被服材料の化学的、物理的基本特性を理解し、被服のデザイン・制作、着用時の審美性、形態・動作・生理・心理適合性の評価、被服を洗淨・保管できる能力)
 4. 被服関連産業を理解し、社会のニーズを把握する方法論を身に付ける。
(繊維、アパレル産業における企画設計、生産、流通の仕組みや周辺領域の産業を理解し、社会ニーズの調査・分析方法を身に付ける。)
 5. 被服と環境との関わりの重要性を意識し、生活の質の向上に配慮することができる。
(被服の生産、流通、消費における環境問題を理解し、環境汚染、省資源的ライフスタイルを意識し、生活の質の向上を考えることができる能力。1. 被服の歴史・文化や役割を理解し、表現する能力を身につけている。)
- #### 2. 今後の活動について
- ・ 学士力の測定指標を検討する
 - ・ 委員会案に対するアパレル有識者の意見を求める
 - ・ 文部科学省に報告する

3. その他

次回委員会の開催日程はメール連絡にて決定する。